

社協だより

ともに生きる

2020
4月号
No.100

- 02 100号記念特集 幸田町社会福祉協議会のあゆみ 03 第2期幸田町地域福祉活動計画の概要
04 令和2年度事業計画および資金収支当初予算 05 令和元年度共同募金実績報告
06・07 地域包括支援センターだより 08 ボランティアだより 09 令和元年度役員会等開催報告、お知らせ
10 令和2年度幸田町社会福祉協議会会員募集、ご寄付紹介



幸田町社会福祉協議会のあゆみ

年	事項	事業		
昭和 57年	幸田町社会福祉協議会設立 (幸田町役場内)	世帯構成資金貸付事業 (生活福祉資金 貸付事業)の開始	たすけあい資金 貸付事業の開始	つなぎ資金 貸付事業の開始 (~平成29年度)
	幸田町共同募金 委員会設置	社会福祉大会 開催		
平成 2年		ボランティアセンター開設		
	3年	福祉実践教室の開始		
7年	日本赤十字社幸田町分区設置	幸田町社会福祉 協力校の指定	家庭奉仕員派遣事業 (ヘルパー派遣事業) の受託	給食サービス(現在の 「見守り配食事業」) の開始
	社協だより ともに生きる 第1号発行	移動入浴事業 の開始 (~平成9年度)	寝具洗淨乾燥 事業の開始 (~平成9年度)	紙おむつ事業 の開始 (~平成18年度)
8年		青少年等ボランティア福祉体験学習事業の開始		
9年		ふれあい・いきいきサロン事業の開始		
10年	事務所移転(高齢者生きがいセンター)			
11年		地域福祉サービスセンター開設	在宅介護支援センター開設 (~平成17年度)	
12年	事務所移転(福祉サービスセンター)	指定訪問介護事業所開設	指定居宅介護支援事業所開設	
15年		心配ごと相談事業受託 (~平成18年度)	指定居宅介護事業所開設	
18年		地域包括支援センター開設		
27年	第1期地域福祉活動計画の策定			
28年		生活支援体制整備事業の受託		
29年		成年後見支援センター開設		
30年		指定相談支援事業所開設		
令和 2年	第2期地域福祉活動計画の策定	法人後見の受任開始		

社協だより「ともに生きる」100号発行に当たり

幸田町社会福祉協議会 会長 神尾 義貴

社協だより「ともに生きる」100号を記念して、表紙に100人の顔写真を掲載し、発行させていただきました。この表紙をご覧になった方々が、笑顔と共に元気を感じていただければ幸いです。

社協だより「ともに生きる」の創刊は、平成7年でした。その中の第3代幸田町社会福祉協議会会長・杉浦力雄氏が創刊に寄せた言葉に「祈りと大きな願いを込めて『ともに生きる』と名付けました。…お手伝いが必要な方々への細やかな福祉サービスをはじめ、人にやさしい福祉の町づくりを目指して、皆様方とともに努力してまいります。」と書いてあります。

創刊から25年が経ち、表紙がカラー化され、ページ数も増えたとはいえ、社会福祉協議会の基本理念は今も変わっていません。子ども、障がいを持つ人、高齢者などすべての人々が住み慣れた幸田町で安心して生活することができるよう「福祉のまちづくり」を目指して、多様な取り組みや支援活動を行っております。

「社会福祉協議会は、何をやっておるところかねえ。」と住民の人から聞かれたことがあります。そんな時、もっと社会福祉協議会が行っている事業を多くの人々に見るようにしたいと思います。その手段の一つが社協だより「ともに生きる」の発行です。今、若者たちはスマホからの情報取得を得意としております。本会でも、インターネットやSNSを使った情報発信もしています。しかし、直接手に取って、親しみをもって読むことができる紙媒体の社協だより「ともに生きる」は大切なものではないでしょうか。今後もさまざまな情報を取り上げ、皆さんにとってわかりやすい記事になるように努力してまいります。

今後とも社協だより「ともに生きる」をよろしく申し上げます。

第2期 幸田町地域福祉活動計画 の概要

地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画は、地域福祉計画（行政計画）を実現するために住民や民間の団体などが具体的にどのような取り組みを進めていくのかを定める民間の行動計画です。幸田町では、幸田町と幸田町社協が共同の事務局を設置し、地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体的に策定しました。

地域福祉とは

本計画では、地域福祉の概念を『地域の人たちが、地域の福祉課題の解決に取り組むこと』と考えます。“障がいがあっても、要介護状態になっても、できる限り住み慣れた場所で自分らしい暮らしができるような地域を行政や社会福祉協議会、地域の人たちで共につくっていくこと”が地域福祉の目標です。

●計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5か年

●基本理念

「支え合い ともに生きる まちづくり」

～一人ひとりが自立し、人とつながり、お互い様を広げよう～

第1期計画からの考え方を継承し、「自助、互助、共助、公助がそれぞれの役割を果たしつつ、互いに連携、協働することが必要である」という考え方が基になっています。

●地域福祉活動の展開

地域福祉活動は、小学校区を1つの活動圏域と捉え、地域のつながりづくりや身近な支援を行う活動の推進を目指します。計画を具体化するために4つの方向性を示しています。

1 地域の“困りごと”“不安ごと” “アイデア”等を広く把握する。

地域ケア会議、地域総合支援協議会の専門部会、
（仮称）ふくし委員会等での課題の抽出



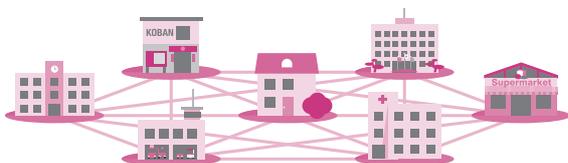
2 小学校区ごとに協議の場を持ち、 課題に対する取り組みの検討を進める。

活動団体等のネットワーク形成
（仮称）ふくし委員会の立ち上げ支援
見守りの組織づくり



3 地域福祉活動に継続的に取り組む ための基盤整備。

住民、行政、社協、民間企業等との連携
活動のバックアップ体制の検討
民生委員補助員制度の検討
（仮称）ふくし委員会の運営支援



4 個人情報を含めた情報の共有や 活用方法の検討。

災害時避難行動要支援者名簿の登録推進と活用
地域での個人情報共有のルール化



詳細は、幸田町社会福祉協議会ホームページ <http://kotashakyo.jp> をご覧ください。

令和2年度 事業計画 および 資金収支当初予算

少子高齢化や核家族化、生活スタイルの多様化を背景に社会福祉を取り巻く課題は、孤立、貧困、ひきこもり、虐待、DVなど多岐にわたります。さらには育児と介護を同時に担うダブルケアや働かない子と高齢の親が同居する8050問題など複雑化、深刻化した課題を抱える世帯も多くなります。

国では地域共生社会実現に向けて新たな事業が創出され、今後市町村の実情に応じて包括的な支援体制が整備されます。

これらの動向を踏まえ、令和2年度は個別の相談支援を丁寧に行いながら、個別支援を通じて地域とのつながりや社会参加の支援、多様なつながりが育つための地域づくり、個と地域の一体的な支援に取り組みます。また、年齢や分野にとらわれない包括的な支援とサービスの提供に努め、各部門が協力して諸事業を実施します。

法人運営部門

- 1 経営基盤の確保
- 2 職員の資質向上

地域福祉活動推進部門

- 1 第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- 2 生活支援コーディネーター業務の受託
- 3 地域でのサロンやサークル活動への支援
- 4 ボランティアセンターの機能充実
- 5 災害に対する備え
- 6 福祉車両、福祉用具、レクリエーション用具等の貸出
- 7 福祉実践活動者への費用助成
- 8 福祉6団体事務局の運営、活動支援
- 9 広報活動
- 10 赤い羽根共同募金配分金の有効活用

福祉サービス利用支援部門

- 1 地域包括支援センターの受託
- 2 成年後見支援センターの受託
- 3 日常生活自立支援事業の受託
- 4 各種貸付、相談事業の実施
- 5 障害者相談支援事業の受託
- 6 相談支援事業所の運営

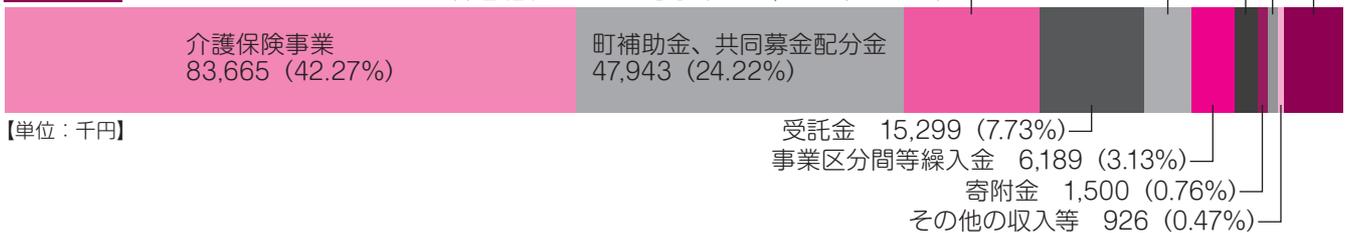
在宅福祉サービス部門

- 1 見守り配食事業の実施
- 2 居宅介護支援事業所の運営
- 3 訪問介護事業所の運営



予算総額 197,904千円

収入



【単位：千円】

支出



【単位：千円】

令和元年度 共同募金実績報告

募金額 5,325,218円

赤い羽根募金 5,103,218円
 歳末たすけあい募金 222,000円



ご協力ありがとうございました

皆さんからお寄せいただきました募金は、愛知県共同募金会でまとめられ、幸田町の地域福祉の向上に、また愛知県内の社会福祉事業に役立てられます。(順不同・敬称略)

- 戸別募金4,526,600円
幸田町各地区の皆さん
- 法人募金200,000円
株ジェイブ
- 職域募金146,799円
幸田あけぼの第一幼稚園
幸田あけぼの第二幼稚園
たつみ第二幼稚園
ももの木保育園
リトルラビット保育園
幸田みやこ認定こども園
幸田町役場
幸田町文化振興協会
幸田町シルバー人材センター
幸田町消防本部消和会
幸田町社会福祉協議会
- 街頭募金85,657円
幸田町ボランティア連絡協議会
幸田町身体障害者福祉協会
幸田町聴覚障害者連絡協議会
幸田町母子寡婦福祉会
ボーイスカウト幸田第3団
幸田町老人クラブ連合会
幸田町手をつなぐ育成会
幸田町遺族会
ボーイスカウト幸田第1団
幸田町社会福祉協議会
- その他の募金
○こうた女性の会5,108円
○個人10,000円
安藤美知子
○赤い羽根協力店64,006円
(協力店ご利用者様からの募金を含みます。)
幸田町商工会
幸田憩の農園
ピアゴ幸田店
カメラア (町民会館内)
とうふや豆蔵幸田店
スーパーセンターオークワ幸田店
かべや歯科医院
平野歯科クリニック
植田歯科医院
さかきばら歯科
ふじえ歯科
うおずみ歯科
つつじヶ丘
メリーホーム幸田
幸文堂ドリームウェイ(株)
ドミー幸田店
マックスバリュ幸田店
幸田郵便局
フィール幸田店
道の駅筆柿の里幸田
わたなべ歯科医院
磯貝歯科医院
不破歯科医院
いちかわ歯科
あいみ歯科
やまもと歯科醫院
まどかの郷
- 興行募金21,714円
ボランティアまつり
健康福祉まつり
- 学校募金200,347円
坂崎小学校 幸田小学校
中央小学校 荻谷小学校
深溝小学校 豊坂小学校
幸田中学校 南部中学校
北部中学校 幸田高等学校
- 役場・中央公民館・図書館・社協窓口等64,987円

歳末たすけあい配分金事業報告

皆さんからご協力いただきました歳末たすけあい募金で、町内保育施設14施設への活動助成を行いました。それぞれの園ではクリスマス会や節分などの行事が行われ、プレゼントを渡された園児のかわいい笑顔が広がりました。

地域包括支援センターだより

「シニア元気アップ教室」

体力づくりや健康に関する知識を学び生活に活かしませんか

と き 5月13日～7月29日 毎週水曜日 午前10時～正午
と ころ 高齢者生きがいセンター（シルバー人材センター）（6月17日のみ保健センター）
対 象 町内在住の65歳以上の人で主治医より運動制限を受けておらず、12回継続して参加できる人（介護認定者は対象外）
定 員 15人 *先着順
講 師 運動指導士、管理栄養士、歯科衛生士など
参加費 300円+食材費500円
申込み 3月16日(月)～4月17日(金)にお申し込みください。電話62-7331

男のための「からだメンテナンス教室」

理学療法士が教える運動指導や健康運動講座等の教室です

と き 5月20日～10月7日 隔週水曜日 午後1時30分～3時 全12回
と ころ 保健センター 運動指導室他
対 象 町内在住の概ね65歳から75歳の男性
主治医より運動制限を受けておらず、12回継続して参加できる人（介護認定者は対象外）
定 員 15人 *先着順
講 師 理学療法士 石原直樹氏
参加費 300円（初回1回のみ）
申込み 4月15日(水)から受付開始 電話62-7331



お元気なシニアの「脳の健康教室」

- ・くもん学習療法の専用教材を使って、簡単な「読み書き」「計算」で脳の活性化
- ・仲間やサポーターと楽しい交流
- ・体操、お口の体操、回想法等

と き 6月5日～11月20日 毎週金曜日 午前10時～11時15分
と ころ 幸田町社会福祉協議会（福祉サービスセンター内）2階会議室
対 象 町内在住の65歳以上の人で、毎週1回教室の参加と毎日10分程度の自宅学習が可能なお人（要介護1～5の人は対象外）
定 員 12人 *先着順
参加費 月額2,000円（教材費込）
申込み 4月15日(水)から受付開始 電話62-7331

講演会「脳の若返りの秘訣」

と き 5月15日(金) 午前10時30分～正午
と ころ 幸田町保健センター 2階視聴覚室
内 容 講演・体験：脳を若返りさせるために何をしたらよいか
講 師 学習療法アドバイザー 武田信恵氏
参加費 無料
申込み 5月8日(金)までにお申し込みください。電話62-7331



健康づくり・介護予防を応援する「げんきかい」

と き 5月～令和3年3月 午前10時～11時30分 各会場月1回
内 容 体操、レクリエーション、体力測定等
対 象 おおむね65歳以上の人
その他 送迎バスあり。事前にお申し込みください。電話62-7331

小学校区	第1回開催日	ところ	小学校区	第1回開催日	ところ
坂崎学区	5月13日(水)	坂崎公民館	荻谷学区	5月7日(木)	芦谷公民館
幸田学区	5月21日(木)	大草老人憩の家	深溝学区	5月18日(月)	市場公民館
中央学区	5月14日(木)	岩堀公民館	豊坂学区	5月25日(月)	高齢者ふれあいプラザ

幸田町認知症家族交流会

町内在住の認知症の人のご家族および認知症の疑いがある人のご家族、皆さんで交流を行いながら、一緒に認知症について学びましょう！

と き 毎月第3金曜日 午後1時30分～3時30分
と ころ 幸田町社会福祉協議会（福祉サービスセンター内）2階会議室
内 容 介護などについて学び、ご家族同士交流を行います。

4月17日「認知症事業について」	8月21日「服薬について」	12月18日「音楽を鑑賞会」
5月15日 交流会	9月18日 交流会	1月15日 交流会
6月19日「介護保険の利用について」	10月16日「介護体験を学ぶ」	2月19日「介護現場からの提案」
7月17日 交流会	11月20日 交流会	3月19日 交流会

*講師等の都合により日程や内容が変更される場合もあります。

おれんじカフェ（幸田町認知症カフェ）

認知症の症状がある人が安心して参加できる場所です。福祉等の専門職に介護の悩みを相談することができます。お茶を飲みながら、一緒に話しませんか。

町内には3カ所でおれんじカフェが開催されています。認知症の症状がある人、そのご家族、地域の人どなたでも参加できます。事前申し込みは必要ありません。

カフェ名・ところ	と き	参加費 (お茶菓子代)	問合せ先
喫茶ふでかき グループホームおり姫 大草字山添15	4/22、6/24、8/26、10/28、12/23、 2/24 *偶数月の第4水曜 午後2時～4時	100円	グループホーム おり姫 電話56-3500
フェリシーテ フェリシーテ幸田 (メリーホーム幸田内) 深溝字皿入1-1	5/11、7/13、9/14、11/9、1/11、 3/8 *奇数月の第2月曜日 午前10時～正午	無料	フェリシーテ幸田 電話64-6963
カフェ まどか まどかの郷 野場字石荒23	6/10、9/9、12/9、3/10 *第2水曜日（3カ月に1回） 午後1時30分～3時30分	無料	まどかの郷 電話63-1626

高齢者や介護に関する悩みや疑問など、なんでもお気軽にお問い合わせください
幸田町地域包括支援センター 電話62-7331

ボランティアだより

幸田町社会福祉協議会では、ボランティアに関する保険をご案内しています。
申込みは幸田町社会福祉協議会の窓口で受け付けます。
印鑑（団体印、個人印ともに可）をご持参の上、窓口までお越しください。

ボランティア活動保険のご案内



加入対象者 ボランティア個人またはボランティアグループ

年間保険料	Aプラン	Bプラン	Cプラン
基本プラン	250円	300円	350円
天災プラン	400円	500円	600円

補償期間 令和2年4月1日午前0時から令和3年3月31日午後12時まで
※中途加入の場合は加入手続きが完了した日の翌日午前0時から令和3年3月31日午後12時まで

補償内容 (1) 傷害補償
事故例：ボランティア活動中に転んでケガをした。
ボランティア活動からの帰宅途中に自転車にはねられケガをした。
(2) 賠償責任補償
事故例：介護ボランティア中に誤って車いすから利用者を落としかケガをさせ、賠償責任を負った。

ボランティア行事用保険のご案内

対象となる行事 福祉活動やボランティア活動などを目的とする団体などが主催する行事
保険料 日帰り行事 1日1人につき 30円から（参加者人数20人以上から対象）

A行事	清掃、研修会、リハビリ体操 など	30円
A行事（当日参加型）	清掃、研修会 など ※往復途上は補償外	30円
B行事	マラソン、日帰りキャンプ、乗馬 など	135円
C行事	空手、サッカー、相撲、ラグビー など	265円

宿泊行事 1泊2日1人につき 253円から
※保険料は行事内容、宿泊日数により異なります。

補償期間 行事開催期間

詳しい内容については、パンフレットをご確認ください。パンフレットは幸田町社会福祉協議会にて配布およびホームページにて掲載しております。



問合せ先 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

令和元年度 役員会等開催報告

理事会

第3回理事会／3月5日

議事事項

給与規則の一部改正
令和2年度事業計画
令和2年度資金収支当初予算
令和元年度3月評議員会の招集

評議員会

3月評議員会／3月18日（決議の省略）

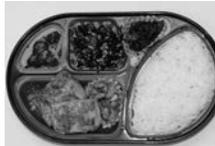
議事事項

令和2年度事業計画
令和2年度資金収支当初予算

お知らせ

見守り配食事業委託事業者新規参入のお知らせ

シルバー人材センター、まごころ弁当が委託事業者として新たに加わりました。ふれあいサークル、ひなたと合わせて4つの事業所から選べます。

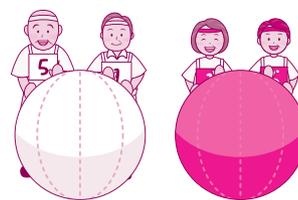
シルバー人材センター	まごころ弁当
月曜～金曜 夕食	月曜～金曜 昼食・夕食
栄養士の立てた献立メニューを元気な高齢者が配ります。 	栄養バランスを考えた安心・安全なお弁当を配達します。 (別途自費対応あり) 

問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

行事紹介

第32回幸田町友愛スポーツ大会 参加者募集

とき 6月7日(日) 午前10時から
ところ 中央小学校 体育館
対象 町内在住の身体障害者手帳または療育手帳保持者
申込み 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171
申込期日 5月15日(金)



令和2年度幸田町戦没者追悼式

先の大戦で犠牲になられた人々を慰霊し、平和を祈願することを目的として、追悼式を挙行政します。ご遺族および関係者の皆さん、ぜひご参列ください。

とき 6月5日(金) 午後1時30分から
ところ 幸田町民会館 つばきホール

令和2年度

幸田町社会福祉協議会会員募集

社会福祉協議会は、皆さんと一緒に「ともに生きる」福祉のまちづくりを目指しています。こうしたまちづくりを進めるためには、皆さんからの会費が貴重な財源となります。皆さんからいただいた会費は、ボランティア活動の振興や各種福祉団体支援、福祉情報の発信などに役立てさせていただきます。

町民の皆さんには、区長さんを通じて募集させていただいております。今年度もぜひご加入くださいますようよろしくお願いいたします。



福祉団体活動支援
(老人クラブ連合会スポーツ大会)



ボランティアの養成
(高齢者疑似体験)



福祉教育の推進
(福祉実践教室)

会費の種類と金額

- 一般会員 町民の皆さん 1口 300円
- 賛助会員 公職者など 1口 1,000円
- 特別会員 法人・企業 1口 3,000円

会費の主な使いみち

- 敬老祝い金
- 各種福祉団体への活動支援
- ボランティアの育成や活動推進
- 青少年体験学習・福祉実践教室
- 広報誌の発行 など

ご寄付紹介 R1.12.3～R2.2.29

(順不同・敬称略)

- 現金 JAあいち三河女性部 10,000円 幸田町少林寺拳法協会 10,000円
アトリエジャスト近藤二吉 8,000円 (株)石原組従業員一同 3,600円 匿名 100,000円
匿名 1,950円
- 物品 匿名 固形せっけん30個

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4
 電話 (0564) 62-7171 FAX (0564) 62-7254
 居宅介護支援事業所 電話 (0564) 64-1069
 訪問介護事業所 電話 (0564) 83-7273
 地域包括支援センター 電話 (0564) 62-7331
 メール info@kotashakyo.jp



ホームページ
<http://kotashakyo.jp/>



この広報誌は、皆さんからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。